

所要時間 約3時間30分
距離 約14.2km
消費カロリー 764kcal
おにぎり 4.8個分

三島駅南口

三嶋大社

川原ヶ谷

谷田

塚原新田

市山新田

三ツ谷新田

笹原新田

石畳

山中新田

接待茶屋

石畳

箱根峠



[コラム] 箱根の大根干し

三島は古くから大根の産地で、平井源太郎が「農兵節」とともに箱根の大根を大々的に売り出したことで有名になりました。箱根西麓は、火山灰土が積もってできた土地なので大根栽培に適しているといわれ、冬になると沢庵漬けにされる大根があちこちで干されています。雪化粧した富士山と、白く輝く抜きたての大根は三島の風物詩として広く知られており、この時期になると多くの写真愛好家が三島を訪れます。



箱根八里のうちの約半分程の道のりとなる箱根峠から三島宿までの旧街道を歩くコースです。三島から箱根峠へ向かう旧街道は、勾配のきつい箇所が多いのですが、それに合うウォーキングに適した見どころや史跡がたくさんあります。昔の旅人の歴史や文化に触れながら、東海道に思いを馳せてみませんか。

●石畳

江戸幕府が延宝8(1680)年に、整備した石敷きの道。山中地区から笹原地区まで約2kmの区間では、可能な限り往時に近い形で石畳が整備されています。両側を背の高い杉並木で覆われていたり、富士山の眺望が楽しめたりと爽快な気持ちで散策することができる道です。また、箱根峠手前にはちょうど笹のトンネルのような趣のある石畳もあります。



●こわめし坂

こわめし坂は、三ツ谷から笹原へかけの街道を指し、箱根西坂では最も険しい急坂です。言い伝えがいくつかあり、「この坂道を登りつめると旅人は汗ひっしょりになり、その汗と熱で旅人の背負っていた米はこわめしになってしまう」「昔の人は、登りきるのに大変疲れるので、「こわめし」を食べて力をつけてから登った」など諸説残っています。

●雲助備前繁の墓

往來の悪者に難くせをつけられ、困っている者を身をもって助けたり、身銭を切っても困窮の者や若者の面倒をみていたために、仲間の者や街道沿いの百姓、商人からも厚い信頼を受けていた松谷久四郎という雲助がいました。終生酒を愛し、酒を楽しんだ彼の死後、彼を慕う後輩の雲助や土地の人々の手によって、作られたのが通称「雲助徳利の墓」です。



●六地蔵

旧東海道沿いの地蔵堂の境内に祀られた六地蔵は、地獄信仰の六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六界)を表しているそうです。この地蔵尊は火事がないようにと、毎夜、夜まわりをしてくれるという言い伝えがあります。



●一里塚

一里塚とは1里(約4キロ)ごとに築かれた塚のことで、松などが植えられ、旅人のための里程標となり、また木陰で旅人が休息をとれるように配慮されていました。箱根旧街道には、国史跡となった錦田一里塚の他に笹原一里塚や山中新田一里塚など数多くの一里塚が存在しています。南北の対で残る貴重な史跡です。